

あす
未来のために、
いま
現在を変える

鶴 翔

Kaku

Shou



つるほ庸介

後援会会報 No.34

〒640-8323

和歌山市太田3丁目7-12 ヤマイチ第一ビル1F

TEL:073-472-3311 FAX:073-472-3334

E-mail:info@tsuruho.com



未来志向の交流・外交を

参議院議員 鶴保 庸介

「即位礼正殿の儀」(10月22日)に出席してまいりました。

テレビでご覧になった方も多いいと思いますが、所要30分、厳粛かつ滞りなく執り行われました。

驚いたのは、長い待ち時間の後、陛下がお出ましになるその瞬間にお日様が照ったこと。それまで東京は大雨、暴風でしたが、その瞬間だけは風も止み、小雨になって日がさすではありませんか。

戊辰戦争のドラマのシーンなどでよく見られる錦の御旗が、高御座の鎮座している正殿に向かって並んで立てられており、これらのいくつかは飛んでいってしまうぐらいの強風だったにもかかわらず、です。

波乱に満ちた時代です。それでもちゃんと落ち着くところに落ち着くよ、心配は無用、そんな慈愛溢れた時代を暗示したものであれば良いと思います。

プロフィール

鶴保庸介 (つるほようすけ)

参議院議員 (和歌山県選出、自由民主党)
昭和42年(1967)2月5日大阪府生まれ。東京大学法学部卒
○衆議院議員秘書を経て平成10年7月参議院選挙初当選、平成14年国土交通大臣政務官(2期)、平成18年参議院厚生労働委員長、平成22年参議院決算委員長、平成23年参議院議院運営委員長、平成24年国土交通副大臣、平成26年参議院自民党政務会長、平成28年内閣府特命担当大臣 ○参議院国際経済・外交に関する調査会長、自由民主党政務調査会観光立国調査会会長代行

おもな内容

- 参議院国際経済・外交に関する調査会長に就任
- 資源工調査会長として本会議で最終報告
- 議連会長として推進「棚田振興法成立
- 「政策は実現させてこそ…」の姿勢で

そこから遡ることおよそ1ヶ月半。「日韓交流おまつり in Seoul」というイベントに参加するため、韓国を訪れました。

2日間で数万人を超える来場者数を誇り、今回で15回目を迎えるというこのイベントも、昨今の日韓情勢から、一時は開催が危ぶまれていましたが、「こんな時だからこそ」と現地の関係者が奔走され、開催にこぎつけたのです。

現政権の頑なな姿勢に対して批判的なそれらの方々の思いや熱意に、日本側としても何とか応えたい。その思いから、私も参加を決意しました。

会場を訪れ、現場では事前の心配や躊躇はさほど問題ではないことを強く感じました。

(2ページへつづく)

(1ページからつづく)

イベント冒頭、日韓の子供たちが、それぞれの国の歌を合唱し、その幕間では、ハイタッチをしながら楽しそうに演じていました。その姿に感動しなかった人は誰一人いなかったはずです。

子供たちにとって歴史認識や過去の話は意味をなしません。

「お隣の国と仲良くしたい」

「お互いの立場を思いやりながら幸せな未来を切り拓こう」

そんな思いに満ちあふれた合唱、オープニングで、私も心から感銘を受けました。

国民同士の相互理解を

この時期に、このイベントを開くにあたり、やはり韓国国内でもさまざまな妨害があったという話を聞きました。私たち日本の国会議員に対しても、物々しい身辺警護で強い警戒ムードが漂っていました。

当時の世論調査によると、40%の政権支持派と40%の政権不支持派が拮抗していたそうです。

現在の文在寅政権のもとでは、反政権派に発言力がないのは日本と同じで、そう考えると私たちにも「未来志向」が大事なのではないか。私たちは「敬意を持って」韓国と今後もお付き合いをし、また、「これから」

に期待すべきだと思います。

国境が意味をなさないサイバースペースに立ち向かうための「ホワイトハッカー」養成校を同国で視察させて頂いた折にも感じましたが、長期的に両国が「無関係」でいられるはずがないのです。

今回の私たちの訪韓は現地では大変注目されていました。それだけ日本との関係に神経をとがらせているということでしょう。

私たちは現政権とはなく、韓国国民と相互理解を深める努力をした、と現地で強調してまいりました。思いが届けば、これ以上の喜びはありません。

県人会の世界大会

さて、突然ですがここで和歌山県に関するクイズを一つ。海外への移住者送り出し数、和歌山は全国で何番目に多い県でしょう？

答えは6番目。さらに、大正末期までは、これら出稼ぎ移民者から本国への送金額は「世界一」と言われてきました。

このように世界中で苦勞され、自ら地平を開かれてきた和歌山県出身者が一堂に会する「和歌山県人会世界大会」が11月24日(日)、和歌山県民文化会館で初開催されます(本

稿はその1週間前に執筆しています)。

2015年の南米出張の際には、現地の日系人の方やアルゼンチン和歌山県人会の皆さんにお目にかかり、望郷の思いをたくさん聞かせてもらいました。

また、沖繩・北方担当大臣時代に公務で同様のイベントに出席したこともあり、和歌山でも同じような取り組みができないか、仁坂知事に持ちかけたところ、知事もよく理解して下さって実現の運びとなりました。

沖繩では、「世界のウチナーンチュ大会」が定期的に(ほぼ5年に1度)開催されており、2016年の開催時には5日間にわたって世界各国から7000人以上、一般参加の方も含めるとのべ43万人ものウチナーンチュ(沖繩ルーツの人)が会場を訪れ、ふるさとを愛する心を共有し、地域や世代を越えた交流を深めています。

日系人との絆も

あまり知られてはいませんが、南米全体には日本からの移民が何万人もいらつしやいますし、中には、我が県出身の末裔が現地で市長など重要なポストにつかれたりもしているそうです。

ただ、外務省に「いったいどの国

鶴保議員の活動日誌

- 三月
- 1日 観光立国調査会インナー会議
- 2日 地元挨拶回り
- 3日 台日産経友好促進会「第1回日本大会」
- 4日 特殊車両通行許可の勉強会



- 5日 会館にて面談・レク
- 6日 サイバーセキュリティ対策推進協議、会館にて面談・レク
- 7日 全日本トラック事業政連盟春季懇親パーティー
- 8日 本会議、京都府立大学ケボニー材研究室視察
- 9日 地元挨拶回り
- 10日 阪和自動車道「和歌山南スマートインターチェンジ」、主要地方道「和歌山橋本線」「一般国道三田海南線」開通式典





沖縄・北方担当大臣時代には「第6回世界のウチナナンチュ大会」の閉会式に出席して来賓挨拶（2016年10月）



参議院ODA調査で南米視察の際には、現地で活躍中の多くの日系人との意見交換や関連事業を視察。写真はアルゼンチンの環境保護区カブレイプロジェクト（2015年10月）

にどれくらいの日系移民がいるのか教えて欲しい」と尋ねたところ、そこまで詳細な数は把握できていない、との答えが返ってきました。これではあまりにもつたいない。少し前に、世界中の韓国系移民があちらこちらで従軍慰安婦像を打ち立てていることが大いに報道されたことは皆さんの記憶にも新しいと思います。その行為自体は到底理解できるものではありませんが、ただ「移民やその子孫に対するアプローチ」という点においては、我が国も見習うべきところがあるのではないのでしょうか。

例えば安全保障や捕鯨といった点について、国際社会において我が国の考えや価値観への理解者を増やしていくためにも、世界中に存在する数多くの同胞は欠かせない存在と言えます。先人達が、移り住んだ先で、幾多の困難を乗り越えて勝ち取った信用は、何ものにも代えがたい財産です。日系二世、三世と世代が進んでいく中においても、それは受け継がれていくべきものです。また、人手不足がほぼすべての産業で声高に叫ばれている中、望郷の思いを募らせているそれらの方々に

日本に戻ってきて頂くことも選択肢の一つになり得ると考えています。これまで日本は外交下手、と言われてきました。首脳外交ばかりがクローズアップされる中で、こうした民間交流の最たるイベントを通じて、今後の観光やビジネスの絆を深めることができないか、党においても観光立国調査会の幹部としての自負を持って考えてまいりました。まずは初めての「和歌山県人会世界大会」を成功裡に終わらせ、今後は他県の先駆けとなるようなイベントに育てて行くことができればと思っています。

11日	地元挨拶回り
12日	厚労委員会、観光立国調査会インナー会議
13日	本会議、会館にて面談・レク
14日	厚労委員会
16日	岸本たけし決起集会
17日	菟野町視察
18日	会館にて面談・レク
19日	大矢運送視察、九州商工会議所連合会「九州の観光と食のタベ」
20日	厚労委員会、ロシア出張勉強会、日本自動車整備政治連盟懇親会
21日	ロシア出張（自民党議員団）
22日	ロシア出張（自民党議員団）
23日	ロシア出張（自民党議員団）
24日	地元挨拶回り
25日	会館にて面談・レク、太地町長、太地町漁業協同組合様との懇談会
26日	会館にて面談・レク、観光立国推進シンポジウム、近畿ブロック両院議員会
27日	外国人観光客に対する医療マシ、会館にて面談・レク、本会議
28日	本会議、会館にて面談・レク
29日	本会議、会館にて面談・レク
30日	沖縄出張
31日	沖縄出張
4月	
1日	会館にて面談・レク
2日	会館にて面談・レク
3日	会館にて面談・レク
4日	会館にて面談・レク
5日	会館にて面談・レク
6日	県ハンドボール協会定例総会、地元選挙応援
7日	県議会議員選挙投票開票
8日	外国人観光客に対する医療PT視察（那須塩原）
9日	外国人観光客に対する医療PT視察（那須塩原）、観光立国調査会
10日	中田食品梅調味液、バイオガス発電所竣工披露式、会館にて面談・レク
11日	組込みシステム開発技術展、IoT展／M2M展視察、県国会議員懇談会
12日	本会議、資源エネルギー調査会理事懇談会、東京パーティー
13日	地元挨拶回り

国会報告

鶴保庸介参議院議員

参議院国際経済・外交に関する

調査会長に就任

資源工調査会長として
本会議で「最終報告」

鶴保庸介議員は今国会において、参議院の国際経済・外交に関する調査会長に就任しました。

前国会までの資源エネルギーに関する調査会長としては今年5月、最終報告を取りまとめ議長に提出するとともに、6月5日の本会議においてその報告を行いました。
(写真・後方、当時の伊達忠一議長)



技術革新実現に向け提言

資源エネルギーに関する調査会（平成28年9月設置）の3年間の調査テーマは「新たな時代に向けた我が国の資源エネルギー像」でした。

鶴保議員は2年目の「我が国の資源エネルギー戦略」の調査から取り組み、最終年の3年目は「我が国資源エネルギーの展望」を調査項目として、参考人から意見聴取や研究開発現場の視察、政府への質疑、委員間の意見交換等を行いました。最終報告ではこの調査の概要とともに「技術革新の実現に向けて強化すべき研究開発」に関する提言を行いました。

同調査会は、平成30年2月には、横浜の大規模蓄発電システムや水素実験プラント（写真）等の民間の最先端の開発現場を視察しました。今年2月には、つくば市の国立研究開



- 14日 県武術太極拳連盟総会
15日 本会議
16日 ERIA・OECD事務総長との懇談会、会館にて面談・レク
17日 観光立国推進に関する勉強会、自民党水族館を応援する議員連盟役員会、棚田議連
18日 水産部会・水産総合調査会合同会議
19日 本会議、県社会人サッカー連盟通常総会
20日 地元挨拶回り
21日 会館にて面談・レク
22日 厚労委員会、観光立国調査会
23日 水産拡大役員会、本会議、資源エネルギーに関する調査会
24日 厚労委員会、内閣委員会・文科学委員会・厚生労働委員会連合審査会
25日 沖繩振興調査会、宇宙・海洋開発特別委員会
26日 地元挨拶回り
27日 地元挨拶回り
28日 地元挨拶回り
29日 地元挨拶回り
30日 退位礼正殿の儀
- 5月
1日 即位後朝見の儀
2日 地元挨拶回り
3日 地元挨拶回り
4日 地元挨拶回り
5日 地元挨拶回り
6日 地元挨拶回り
7日 厚労委員会、程永華中国特命全権大使帰国レセプション
8日 本会議、日本港湾空港建設協会連合会懇親パーティー、会館にて面談・レク
9日 厚労委員会、志帥会パーティー
10日 本会議、棚田議連
11日 県トラック協会青年協議会通常総会懇親会
12日 紀州東照宮和歌祭
13日 地元挨拶回り
14日 厚労委員会、観光立国推進に関する勉強会、「海上保安の日」祝賀会
15日 本会議、会館にて面談・レク、統一ロシア訪日団との夕食懇談会
16日 水産部会・外交部会・水産総合調査会合同会議、厚労委員会

発法人産業技術総合研究所でメタンハイドレート研究等の実情を視察し、若手研究者との意見交換等も行いました。

ほかに海外での原子力や再生可能エネルギーの開発、鉱物資源政策等の調査結果や大学、研究諸機関の研究者等との意見交換等を行い、それらを最終報告にまとめました。

報告では、資源エネルギー問題等の諸問題の解決には社会全体の技術革新の実現、そのための研究開発の強化と研究人材の育成・確保の取り組みが必要であるとして、技術革新の実現に向けて強化すべき諸点を提言として掲げています。

たとえば、エネルギー分野におけるIoTやAIの活用、地域の創意工夫を活かす再生可能エネルギー導



棚田議連（5月10日）

入・活用、スマートコミュニティの促進、そして、水力発電のさらなる活用（各省庁の縦割りの枠を外してすべてのダムをエネルギーに利用）、メタンハイドレートやメタンブルーム等、国産の海洋資源エネルギーの早期実用化のための探査・回収技術の開発等です（同報告は参議院ホームページに掲載されています）。

棚田地域振興法が成立 議連会長として推進

鶴保議員が超党派の棚田振興議員連盟の会長として推進してきた棚田地域振興法が6月、本会議で可決成立し、8月施行となりました。

同法は、人口減少や高齢化で荒廃の危機にある棚田の保全が目的で、棚田を「貴重な国民的財産」と位置付け、棚田地域の振興を国の責務と定めています。国は都道府県の申請に基づいて棚田地域を指定し、活性化の事業を進めるものです。

法案は党の議論を経て議連で調整され、全会一致で成立しました。

棚田は和歌山県の有田川町にも有名な「あらぎ島」があります。扇型の段丘に広がる絶景の棚田です。自然の造形と農家の尽力で観光資源としても保持されています（P13参照）。それに応えなければなりません。

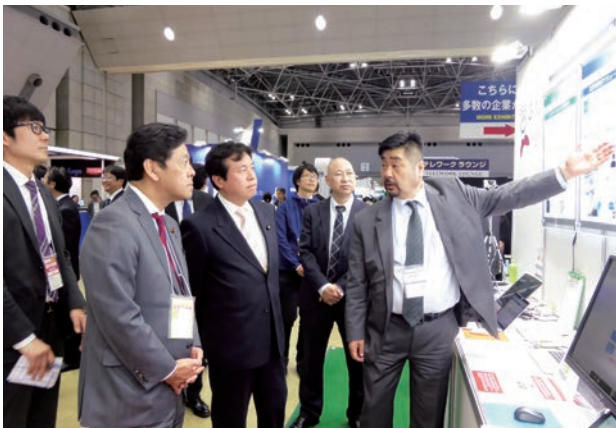
同法は令和7年3月末までの時限

立法です。議連は施行後も実施状況を確認、振興に努めていきます。

IoT/M2M展を視察

さまざまなモノをインターネットにつなぐことで社会を大きく変えるIoT。鶴保議員は、組込みIoTイノベーション議員連盟幹事長です。

4月11日、東京ビッグサイトで開催された第22回組込みシステム開発技術展及び第8回IoT/M2M展を同連盟の宮内秀樹事務局長とともに視察しました。



17日 住宅土地・都市政策調査会中古住宅市場活性化委員会、本会議
18日 県病院協会通常総会懇親会
19日 地元挨拶回り
20日 会館にて面談・レク、日本林業経営者協会懇親会
21日 厚労委員会、全国高速道路建設協議会総会、全国油脂事業協同組合連合会総会、



22日 自民党ちゃんたい支部連合会と語るタベ
本会議、ドローン議連、会館にて面談・レク
23日 厚労委員会、自民党水族館議連
24日 本会議、観光立国調査会
25日 地元挨拶回り
26日 地元挨拶回り
27日 地元挨拶回り
28日 治水議連、厚労委員会、会館にて面談・レク
29日 国土強靱化推進本部、本会議、ドクターヘリ推進議連
30日 厚労委員会、会館にて面談・レク
31日 本会議、資源エネルギー調査会、日本の誇れる漢方を推進する議連、駐日トルコ大使面談

六月
1日 県連選対会議
2日 新宮港40周年記念＆みなとオアシス登録記念「新宮港フェスタ」
3日 会館にて面談・レク
4日 厚労委員会、会館にて面談・レク
5日 本会議、水産拡大役員会
6日 国の施策及び予算に関する和歌山県の提案・要望説明会、党本部和歌山紀州材展、厚労委員会

国会報告

政策研究＆推進

特殊車両勉強会で
運送会社の実情視察

3月に鶴保議員が声掛けをして開かれた「特殊車両に関する勉強会」。大型トレーラーやクレーンなどに代表される大きさや重量が制限を超える「特殊車両」は公道を走るには「通行許可」が必要です。

安全や道路の保守などの観点から設けられている規制ですが、申請から許可が下りるまでに余りにも時間、手間がかかり、ビジネスの実態とかけ離れている現状に事業者から不満の声が多く出されています。災害対応でもクレーンなどの大型重機

がますます活躍し、それらの迅速な移動の必要性も高まっているなか、



何らかの改善措置を講じるために事業者と役所同席の上での意見交換を行いました。

さらにその現場の状況を確認するために3月19日、江東区新木場の株式会社大矢運送の本社・機械センターの視察を行いました。

同社は、重量物運搬工事や各種の移動式クレーンのオペレーター付リース事業などを行っている会社です。クレーン車や大型モニターで安全運行の実際を見たり、担当者から手続きの課題などを聴き取ったり、最前線の現場を視察しました。

国交省道路局なども許可までの期間短縮化の取り組みを進めているようですが、まだ実態に遠く、鶴保議員は、さらにこの課題に取り組んでいきます。



ドクターヘリ推進議連

5月29日、超党派のドクターヘリ推進議連の総会に出席しました。

医師、看護師を乗せて一刻を争う救急現場に駆け付けるドクターヘリは、今年、試験運航から20年。議連が発足した平成20年11月当時は、ドクターヘリはまだ全国13道府県に各1機配備されているだけでした。それが現在53機。ほぼ全国をカバーするまでに配備が進み、多くの命を救っています。

ドクターヘリ特別措置法（平成19年制定）や議連の取り組みなどが普及に大きな役割を担ってきました。鶴保議員も早くから推進。さらなる配備や安全運航などの今後の課題にも取り組んでいきます。



- 7日 本会議、会館にて面談・レク、日本観光振興協会情報交換会
- 8日 地元挨拶回り
- 9日 地元挨拶回り
- 10日 ドローン議連視察「スカイアプリ・機体の飛行試験」
- 11日 厚労委員会、関空議連



- 12日 本会議、観光産業懇談会、梅振興議連
- 13日 流通懇話会、厚労委員会、第31回捕鯨の伝統と食文化を守る会
- 14日 文化立国調査会、本会議
- 15日 和歌山市歯科医師会総会懇親会
- 16日 地元挨拶回り
- 17日 地元挨拶回り
- 18日 厚労委員会、二階俊博自民党幹事長と語る会
- 19日 本会議、関西テレビ取材（商業捕鯨再開）、大日本獺友会定時総会



ドローン議連の 「危機管理小委員会」委員長に

世界的には後れを取ってきたドローンの社会実装に向けてさまざまな取り組みを進めてきた鶴保議員。党のドローン議連（無人航空機普及・利用促進議員連盟）に設置された危機管理小委員会の委員長に就任しました。

ドローンは災害現場などさまざまな場面で急速に利活用が進んでいる一方、飛行禁止区域の空港、皇居周辺等での飛行など、安全面から多くの問題が出てきています。利活用を推進するとともに事故や犯罪防止、危機管理等の観点からのルール作りが喫緊の課題です。そのために小委員会が立ち上げられました。

6月6日の委員会では、ドローン安全推進協議会などから普及、利用

促進時の危機管理（事故防止・犯罪防止・テロ対策）のあり方に対する提言を受けての論議を行いました。今後、機体登録や免許制度等を含め、さまざまな論点で議論、検討されていくものと思われます。

あきる野市で 危機対応システム視察

危機管理小委員会では6月10日、東京・あきる野市の体育館で開催された危機対応のドローン運用のデモンストレーションを視察しました。産業用ドローンの販売やドローンによる野生鳥獣調査・災害対策などを行っている株式会社スカイシーカー（佐々木政聡代表取締役）が開発した「スカイアプリ」という操縦用ソフトによる飛行実験でした。

災害時に携帯通信網が機能しない場合でも飛ばせるシステムで、一般

販売用ではなく、警察庁や消防庁、国土交通省など、危機対応に当たる部署の活用を想定しているとのことでした。今後さらに物資輸送用の国産大型のドローンにも対応させていきたいとのことでした。

水族館を守り、応援しよう！

反捕鯨や動物愛護の団体からの過剰圧力などから、子供たちが大好きな水族館を守り、応援していかうと昨年7月設立された「自民党水族館を応援する議員連盟」（会長・二階幹事長）。

鶴保議員は幹事長として、科学的根拠に基づく海洋生物資源の持続的利用の立場から、鯨類などの飼育展示・教育研究・保全活動を進める水族館を応援するための法整備に向けた取り組みを行っています。

5月23日に開いた総会では、水族館の機能の維持・向上に向けた法律案の策定に向けて、参議院法制局や議員、自治体、水族館関係者による意見交換を行いました。

【鶴保のひとこと】次世代を担う子供たちが興味を持つてくれる娯楽と教育の場で、地域の観光資源でもある大事な水族館を守り、振興するために、しっかり取り組んでいきます。

20日	モノレールの普及を応援する議連、水産政策推進議員協議会、クルーズ船観光振興議連
21日	本会議、会館にて面談・レク
22日	国道30号「阪井バイパス」供用を祝う会
23日	県トラック協会食料品輸送部会通常総会 地元挨拶回り
24日	本会議、日本旅行業協会懇親会
25日	特定地域振興重要港湾物産展「ラトビア共和国イナール・ムールニエツエ国会議長一行との夕食会
26日	科学技術・イノベーション戦略調査会 厚労委員会、会館にて面談・レク 地元挨拶回り
27日	地元挨拶回り
28日	一般県道垣内貫志川線「愛宕橋」の供用を祝う会
29日	



主要地方道岩出野上線「諸井橋」の供用を祝う会、歯科医師連盟懇親会

「商業捕鯨」再開後は…

初の捕鯨議員連盟

わが国は今年6月、国際捕鯨委員会（IWC）から脱退。7月1日から31年ぶりに商業捕鯨を再開し、排他的経済水域（EEZ）でミンククジラなどの鯨類を捕獲しています。

8月26日、鶴保議員が幹事長代理を務める捕鯨議員連盟では捕鯨対策特別委員会との合同会議を開き、担当省庁から捕鯨再開後の状況や影響などの説明を受けました。懸念されていた反捕鯨国からの大きな反発はないとのことでした。

会議では、今後も各国に理解を求めていくほか、日本の伝統的な食文化である鯨食を守っていくための啓



10・9 商業捕獲鯨肉試食会

蒙活動や流通の拡充などに努めていくことを確認しました。

●鯨食文化を広げよう

10月9日には、「商業捕獲の鯨肉試食会」が党本部で開かれ、多くの出席者が商業捕鯨で水揚げされたクジラの刺身やくじら汁、竜田揚げなどを試食。鯨食文化の普及などをアピールしました。会では二階幹事長の呼び掛けで実現しました。

会では、二階幹事長や議連会長の鈴木俊一総務会長が、鯨食文化や商業捕鯨への理解を求めるあいさつ。

試食会では多くの人がテーブルに並べられたニタリクジラの刺し身をはじめさまざまな鯨料理を試食、楽しんでいました。

「令和の梅」をアピール

梅振興議連総会で司会

6月12日、全国の梅産地選出の国會議員中心の超党派の梅振興議員連盟の第23回総会が、衆議院議員会館で開かれ、鶴保議員が司会進行を務めました。

議連会長の大島理森衆院議長や吉川貴盛農相のあいさつのほか、「南



高梅」ブランドを生んだ和歌山県みなべ町の小谷芳正町長が、作柄を報告しながら、新元号が万葉集の梅の花の歌から引用されていることから、「令和の梅をさらにPRしていきたい」とアピールしました。

会では、耕作放棄地対策、UMFを世界共通語として広める、労働力不足対策としてスマート農業技術の導入など8項目の決議文を採択。

30日 紀の川市ベトナムハス・大賀ハス観蓮会開会式、海南青年会議所創立50周年祝賀会

七月

1日 地元挨拶回り

2日 会館にて面談・レク、フェローフォーラム

3日 岸本たけし議長就任祝賀会

4日 せこう弘成「必勝祈願祭」・「出陣式」、第4回県けんさんびん建設資材フェア開会式

5日 地元挨拶回り

6日 地元挨拶回り

7日 地元挨拶回り

8日 会館にて面談・レク

9日 会館にて面談・レク

10日 地元挨拶回り

11日 滋賀・兵庫選挙応援

12日 地元挨拶回り

13日 北海道選挙応援

14日 北海道選挙応援

15日 岩手選挙応援

16日 岩手選挙応援

17日 地元挨拶回り

18日 土改連宮崎まさお候補応援、公明党杉ひさたけ個人演説会

19日 串本町「民間ロケット発射場建設予定地視察」

20日 地元挨拶回り

21日 参院選投票開票

22日 地元挨拶回り

23日 地元挨拶回り

24日 会館にて面談・レク、孔鉉佑新駐日中国大使歓迎会

25日 会館にて面談・レク

26日 会館にて面談・レク

27日 地元挨拶回り

28日 地元挨拶回り

29日 地元挨拶回り

30日 地元挨拶回り

31日 会館にて面談・レク、水産拡大役員会

八月

1日 本会議、国会開会式、会館にて面談・レク

2日 地元挨拶回り

3日 地元お悔やみ・初盆まわり



6・12 梅振興議連。左写真はみなべ町の小谷町長との梅酒づくり

また、9種類の梅酒の試飲や産地の連携決議なども行いました。
会場には梅干しや梅酒、調味料などが並べられ、自治体や農協代表者による商品説明なども行われました。

鶴保議員の鯨ステーキランチ NHK政治マガジンに

Web版「NHK政治マガジン」(8月26日)の「永田町・霞が関のサラメし」で「鶴保さんの鯨ステーキランチ」が。農林水産省の食堂の昼ご飯で、「実態調査」とのコメントや鶴保議員の持論や思いも。以下から見られます。

<https://www.nhk.or.jp/politics/salameshi/21739.html>

(「NHK」「政治マガジン」「鶴保」の検索でも可)



新宮港も出展、物産展

6月25日、自民党本部で特定地域振興重要港湾物産展を開催しました。

地域振興のために重要な役割を果たすことを期待して国が選定した港湾が「特定地域振興重要港湾」です。

今回は、福井港、館山港などとともに鶴保議員の地元・和歌山県の新宮港(新宮市、那智勝浦町＝p12参照)が出展しました。

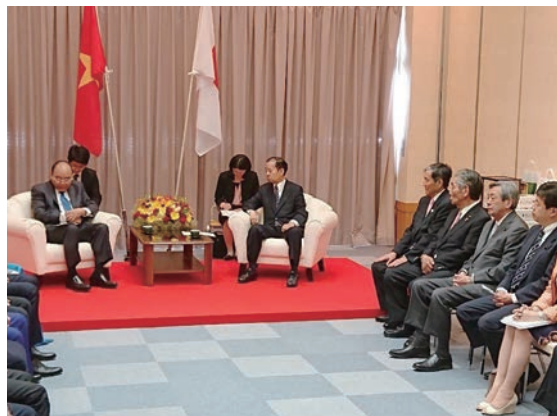
それぞれの地元の出身議員が駆け付け、オープニングでは港湾代表者が名産品を紹介。試食に「じゃこ天」などが振舞われ、賑わいました。



4日	地元挨拶回り
5日	厚労委員会、本会議、会館にて面談・レク
6日	会館にて面談・レク
7日	会館にて面談・レク
8日	会館にて面談・レク
9日	地元挨拶回り
10日	地元初盆まわり
11日	地元初盆まわり
12日	地元初盆まわり
13日	地元挨拶回り
14日	地元挨拶回り
15日	地元挨拶回り
16日	地元挨拶回り
17日	地元挨拶回り
18日	井上直樹第53代和歌山市議長就任パーティー
19日	世界文化遺産地域連携会議総会
20日	会館にて面談・レク
21日	NHK取材(くじら料理)、会館にて面談・レク
22日	和歌山県町村会令和2年度政府予算編成及び施策の策定に関する意見交換会懇親会
23日	東京みらい市2019、東京後援会前会
24日	長四方様通夜
25日	地元挨拶回り
26日	水産拡大役員会、組込100円ノベシ
27日	ヨシ議連後援「組込みDXフォーラム」、捕鯨議連
28日	九度山町役員会
29日	港湾議連、漁港漁場漁村整備促進議連
30日	マリ共和国ケイタ大統領との朝食会、近畿国道協議会総決起大会、県国道連絡会による意見交換会、鳥獣被害対策特別委員会
31日	ワシントンポスト取材(捕鯨)
9月	韓国出張(日韓交流おまつりin Seoul)
1日	韓国出張(視察)
2日	韓国出張(視察)
3日	棚田議連、会館にて面談・レク
4日	Gift Show Autumn 2019、会館にて面談・レク
5日	会館にて面談・レク
6日	会館にて面談・レク



マリ共和国——シディ・ベ保健・社会問題大臣、ファンマンタ高等教育科学研究大臣らとの朝食会。同国はアフリカ西部の内陸国で日本の約3.3倍の国土に人口約1900万人。鶴保議員は日本・アフリカ連合友好議員連盟マリ共和国担当（8・29）



ベトナム社会主義共和国——G20首脳会議に参加していたグエン・スアン・フック首相と会談。一行は日本ベトナム友好議員連盟会長の二階党幹事長の招きで和歌山県紀の川市を訪れ、2013年に同国が贈ったハスや大賀ハスを鑑賞。西貴志コミュニティセンターには仁坂和歌山県知事や中村紀の川市長らも出迎え（6・30）



モロッコ王国——ラシャド・ブフラル駐日大使と日・モロッコ友好議員連盟の中曽根弘文会長とともに面談。連盟議員団が9月8日～12日、同国参議院の招待で訪問。エル・オトマニ首相、カユーフ参議院第一副議長、エル・マルキ衆議院議長らと会談。議会間交流や両国関係の強化で合意。それを受け（10・17 参院議員会館）



ネパール連邦民主共和国——日本・ネパール友好議連（二階俊博会長）がバルシャマン・ブン・エネルギー・水資源・灌漑大臣とプラティヴァ・ラナ駐日大使を招いて懇談（9・25 衆院議員会館）

30日 会館にて面談・レク
29日 沖縄モノレール延長開業式
28日 海上保安友の会役員会
27日 会館にて面談・レク
26日 会館にて面談・レク
25日 渾大臣他との面会・会館にて面談・レク
24日 プン・ネパール・エネルギー・水資源・灌漑大臣との面談・レク
23日 会館にて面談・レク
22日 地元挨拶回り
21日 地元結婚式
20日 地元挨拶回り
19日 地元お悔やみ
18日 会館にて面談・レク
17日 会館にて面談・レク



16日 日本への参観と国益を守る会「対馬視察」
15日 東京挨拶回り
14日 地元挨拶回り
13日 モロッコ出張（モロッコ友好議連）
12日 モロッコ出張（モロッコ友好議連）
11日 モロッコ出張（モロッコ友好議連）
10日 モロッコ出張（モロッコ友好議連）
9日 モロッコ出張（モロッコ友好議連）
8日 モロッコ出張（モロッコ友好議連）
7日 志帥会夏期研修会

組込みイノベーションからデジタルトランスフォーメーション

一般社団法人組込みイノベーション協会 理事・事務総長 平出 隆一



鶴保議員の夢は、日本古来の価値観を大切に、そこからの新しい価値の創造だとお聞きしております。

私も組込みソフトウェア産業は、日本古来の物づくりに貢献して参りましたが、世界情勢の中、後退を余儀なくされておりました。

例を挙げますと、世界一の独自技術を誇った日本の携帯電話は欧州や米国の政策的標準化やイノベーション政策により、国際競争力が著しく

低下しております。現在のスマートフォン の普及に取って代わられ、その衰退は、日々の生活の中でも強く知られるところです。

組込みソフトウェア産業とは、一般的には聞き馴染みのない産業ですが、「自動車」や「医療機器」、「一般家電」の要である「見えないコンピュータ」を支える産業で、その用途は日本の誇る製造産業であります。

その国際環境の中、鶴保議員には、業界の技術、地位向上のため、政官学産を含めた「組込みIoTイノベーション議員連盟」を設立して頂き、幹事長として多大なご支援を頂いております。

結果、我が国初のソフトウェア政策として、「組込みソフトウェア」

産業を成長戦略に取り上げて頂き、日本再興戦略に追加して頂けました事は、業界全体として非常に喜び感謝している次第でございます。

また、組込みソフトウェアは、国境、人種を飛び越えて繋がりを加速させております。

その中、鶴保議員にはIT担当大臣として、ソフトウェア立国であるイスラエルに Outreach、今日の日本イスラエルの協力関係を築く礎にもなっております。

私も同行させて頂き、あの地中海の美しさと歴史の深みの中、汗をかきながら一緒に走り回った事は、生涯の思い出となっております。

現在、組込みソフトウェアは、経済産業省を中心としたデジタル・トランスフォーメーション(通称DX)

の活動の一環として、その輪を広げております。

DXは、デジタル化及びデータ活用による業務全般の改善や、新しい価値の創造による市場創生を目指しており、これは鶴保議員の夢が現実として広がり始めている事でもあると信じております。

私の所属する株式会社オプテックも、積極的にDXプロジェクトに参画し、AIを活用してIoT社会と医療現場を繋げ、医療現場の改善や新しい価値を創造する活動をしております。

今後とも、鶴保議員の描かれた夢、日本の未来に対しての夢を共有し、業界及び企業一丸となって伴走させて頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

活力あふれる「ふるさと和歌山」を目指して

和歌山県議会議長 岸本 健



鶴保先生には、国政の場から格別のご厚情、ご尽力を賜っておりますことに、和歌山県議会を代表いたし

まして、心から御礼を申し上げます。また、国会議員在職二十余年を迎えられる中で、多くの要職を歴任、その卓越した先見性とリーダーシップにより様々な政策に取り組まれ、多大な成果を上げておられることに深く敬意を表する次第です。

さて今日、我が国、とりわけ地方には、人口減少、超高齢化社会の波が押し寄せ、社会保障費の増大や労働力の減少、過疎化による担い手不

足の問題がさらに深刻になっております。

加えて本県においては、南海トラフ地震や近年頻発する風水害への防災対策など自然災害への備えも怠ってはなりません。

一方、夢のある事業も進められていきます。その一つが統合型リゾート(IR)の誘致です。

IR誘致は、観光の振興や雇用の拡大など本県の発展に資するとともに

に、その収益金の一部は社会福祉の増進や教育の振興など様々な施策への活用が期待できます。

いずれにいたしましても、私も県議会は、県民の皆様が安心して暮らせる、快適で活力あふれる「ふるさと和歌山」実現のため、誠心誠意努力してまいりますので、鶴保先生には、今後ともより一層のお力添えを賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。



梅調味液工コ発電所竣工式

梅の産地・紀州で、明治以来、梅干しを作りつづけている中田食品株式会社（田辺市）が建設していた梅調味液を活用したバイオガス発電所が完成。鶴保議員が竣工披露式に出席、祝辞を述べました。

紀州特産の梅干しの味付け後に残る多量の調味液の処理は、この地の加工業界の悩みの種でした。それを発電に活用することで、処理コスト軽減とエコロジーの一石二鳥を実現する発電所です。

廃液はバクテリアで分解し、発生したメタンガスを使って発電します。同社のものだけでなく、この地域にある多くの同業他社の調味液も処理していくそうです。4月1日に営業運転を開始（委託を受けて宮惣ケミカル株式会社が管理・運営）。

廃棄される調味液を再利用するエネルギーの創出で、環境への負荷を低減。中田食品の中田吉昭社長も、地球温暖化防止に貢献できる施設と強調し、「梅産業の持続的な発展に貢献していきたい」と挨拶をしていました。

披露式では同社自慢の梅酒で鏡開き！

（4・10）①

新宮港「開港40周年」を祝う

新宮港の開港40周年と、国土交通省が進める「みなとオアシス」登録を記念した「新宮港みなとフェスタ」の記念式典に出席。港湾管理者の仁坂吉伸和歌山県知事、お祝いに駆け付けた自民党幹事長、二階俊博先生とともにお祝いとお励みの挨拶を行いました。

同港の近年の大きな取り組みは、官民一体で進めているクルーズ客船の誘致。世界遺産・熊野の「海の玄関口」として、ハード、ソフト両面での積極的な取り組みにより入港実績を上げ、「クルーズオプザイヤー2018」の特別賞に輝いています。開港40周年に花を添える受賞でした。新宮港では、和歌山・三重の両県にまたがる3市6町1村で「新宮港クルーズ振興広域協議会」を立ち上げ、広域でのクルーズ船誘致に寄港地観光の開発と「おもてなし」の向上などに積極的に取り組んでいます。それが高く評価されました。

クルーズ客船誘致はインバウンド拡大の旗振り役、鶴保議員も推進してきた政策で、みなさんの取り組みを評価、激励しました。

また、みなとオアシスは「みなと」を核としたまちづくりを促進するために2003年に設けられ

KIRII 株式会社桐井製作所

確かな技術で創られた空間には安全・安心・美しさがある。

<http://www.kirii.co.jp/>

本社 〒100-0011 東京都千代田区千代田1-1-1 帝国ホテルタワー18F TEL: (03)3539-6000 FAX: (03)3539-6660



⑥



⑤



④

和歌山の絶景スポットとしても有名ならぎ島棚田の扇形の段に形成されている美しい造形も、自然だけでなく、長年、棚田と稲作を守りつづけてきたみなさんの努力により保たれているものです。

和歌山の絶景スポットとしても有名ならぎ島棚田の扇形の段に形成されている美しい造形も、自然だけでなく、長年、棚田と稲作を守りつづけてきたみなさんの努力により保たれているものです。

名勝あらぎ島の町で「棚田」報告

日本の棚田100選、国の重要な文化的景観にも指定されている名勝あらぎ島がある有田川町（旧清水町）で国政報告会。テーマは、議員が旗振り役として進め、成立した棚田地域振興法についてでした。

③

岸本新議長にお祝いと激励

和歌山県議会の議長に自民党県議団の岸本健（たけし）議員が就任。その就任祝賀会に出席。第90代議長就任のお祝いと今後の活躍に期待するメッセージを。

②

た制度です。新宮港は全国130カ所目、県内4カ所目の登録となりました。

①

（9・4江東区・東京ビッグサイト）⑥

このフェアでは県内企業の優れた製品や技術力を広くアピールするために県と（公財）わかやま産業振興財団が参加企業を募って集団出展しています。伝統工芸をベ

視察。

和歌山県の多くの企業も出展した日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市「第88回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2019」（ビジネスガイド社主催・9月3日～6日）を

ギフトショーで県企業を視察

（7・4 和歌山ビッグ愛）⑤

同フェアは、県産品資材を知り、商談も行う機会としてのイベントで、建設、設計事業や発注機関の職員などで賑わっていました。

和歌山県の県産品建設資材の魅力を建設業関係者にアピールするイベント「第4回和歌山県けんさんびん建設資材フェア」のオープニングであいさつ。ブースを回って視察をしました。

けんさんびん建設資材フェア

（6・30 清水会館）④

その努力に比べ、支えていかなければなりません。そのための振興法と強調していました。

SLEEP SELECT

（株）スリープセレクトは、日本国内において米国三大メジャーマットレスブランドの1つ

“Sealy（シーリー）”の製造から販売までを一貫して手がけています。



PROUD SUPPORTER OF YOU™



シーリー社は業界に先駆けて整形外科医との連携を図り、「ホスチャーチックコイル」の開発を進めています。



おもてなしのプロが選ぶシーリーの寝心地。世界の一流ホテルにも採用されています。

その他、シーリー関連ブランドである米国最高級ベッド、Stearns & Foster（スターンズ&フォスター）も当社は取り扱いがあります。

株式会社スリープセレクト

東京都港区北青山2丁目13番5号青山サンクレストビル2F TEL: 03-5413-6600（大代表）
札幌/仙台/長野/群馬/東京/東海/名古屋/大阪/福岡 その他、全国に営業所、ショールームを展開中

www.sleepselect.co.jp



地元市議ほか昼食会
(7・30 紀の川市桃山町市場ラ・ナチュール)



地域再生・山村振興に向け

紀州材展 in 自民党本部

6月6日、東京の自民党本部玄関前で、「木の国・和歌山 紀州材展」が開催されました。

われらが誇る紀州「木の国」の優れた木材（紀州材）を使った木工品をはじめ、成長産業として期待される林業に関する展示も行いました。

このような林産物を集めた展示即売会が行われたのは初めて。木材ならではの優しい木の香りに包まれた会場では威勢のよい掛け声による競市も開催され、会場を盛り上げました。

推進役の二階幹事長はじめ多くの議員も「紀州材」や党のハッピーを着て応援。



ドゥーユー／
ユーナット?

Do U Know U-NUT?

50th
Anniversary



弛ぎない品質を未来へ
ゆるみ止めナットの総合メーカー

株式会社 富士精密

Fuji Seimitsu Co., Ltd.

本社：〒561-0845 大阪府豊中市利倉 3-14-15
TEL：06-6862-3112 FAX：06-6862-9880

代表取締役会長 和田 博行
代表取締役社長 和田 眞孝





兵庫・加太裕之候補応援「自民党政談演説会」
(7・11 神戸文化ホール)



せこう弘成かつらぎ町個人演説会 (7・19 あじさいホール)



岩手・平野たつお北上総決起大会 (7・17 北上市)

2019参議院選挙

応援、奮戦——ご支援、ありがとうございました。



大阪・芝苑の会 (6・17 大阪市北区 芝苑)



全国治水砂防協会和歌山県支部 昼食会 (5・30 南南園)



九度山町役員会 (8・27 幸村庵)

私たちの約束

期待を超えなければ、 仕事ではない

鴻池運輸株式会社 Konoike Transport Co., Ltd. 代表取締役兼社長執行役員 鴻池 忠彦

大阪本社 » 〒541-0044 大阪市中央区伏見町 4-3-9 TEL 06-6227-4600 (代表)

東京本社 » 〒104-0061 東京都中央区銀座 6-10-1 TEL 03-3575-5751 (代表)

グループ国内拠点数：195 / 海外拠点数：33

<https://www.konoike.net/>



KONOIKE
GROUP

「政策は実現させてこそ…」の姿勢で

確たる志を持ってさまざまな課題に取り組むと

「参議院資源エネルギーに関する調査会長 鶴保庸介君と明日の日本を語る会」 東京で



乾杯前に関西後援会・鴻池会長からあいさつ。熱く語った香川謙二理事長、原田農水大臣（当時）、岸化学グループ・岸代表、伊勢市・鈴木市長（写真右上から）

「参議院資源エネルギーに関する調査会長 鶴保庸介君と明日の日本を語る会」が、4月12日、東京・白金台のシェラトン都ホテル東京で盛大に開かれました。

第一部は、元水産庁次長の（公財）海洋生物環境研究所・香川謙二理事長による「捕鯨について」の講演。

香川理事長は国際捕鯨委員会（IWC）で長く交渉に携わってきた日本代表代理。講演ではIWCの設立からその変質、日本の脱退に至る経緯などを説明。ただ、脱退後も科学的な調査研究ではIWCに協力をしていくことや、鯨資源の有効活用を進める商業捕鯨を成立させるためにも幅広い人にクジラ肉が親しまれるようにしていきたい、「ぜひ、鯨食を！」

と強調していました。

会場には小倉將信衆院議員、三木亨・自見はなこ参院議員など多くの先生方や支援者の方々に出席していただきました。

御礼の挨拶に立った鶴保議員は、捕鯨問題に関しては、「捕鯨賛成のアメリカ諸国などは日本の対応に期待している」「外務省にはその声にも応えられるような働きを期待したい」と日本の外交力が問われている」との持論を展開。合わせて自身も、捕鯨に限らず、「政策は実現させてこそ…」との気概と姿勢でさまざまな課題に取り組んでいくとの決意を表明、大きな拍手を受けていました。

多くの方からの祝辞、激励、ありがとうございました。



編集後記

- A. 今回、鶴保先生は「国際経済・外交に関する調査会長」に就任したんだってね。
- B. 参議院には独自の3つの調査会があり（「国際経済・外交」「国民生活・経済」「資源エネルギー」）、7月まで鶴保先生は「資源エネルギーに関する調査会長」でした。
- A. 今回の調査会ではどんなことを議論するの？
- B. テーマは年末までに決まる予定だけど、昨年まで「アジア・太平洋における平和の実現、地域協力及び日本外交のあり方」とのテーマで議論を重ねてきました。国会では与野党が対立する場面が多い中、建設的な政策議論をしてほしいですね。鶴保会長の腕の見せどころですよ。

(K)



●写真による活動報告も行っています。

ホームページもぜひご覧ください。
<http://www.tsuruho.com/>

鶴保庸介事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館313号

TEL.03(6550)0313 FAX.03(6551)0313
E-mail: info@tsuruho.com